

2022年9月19日

にじの会利用者・ご家族の皆様

にじの会関係者の皆様

にじの会理事長 石崎優仁

3回目の新型コロナウイルス施設内感染収束の報告

第7波の感染の低減が進む中で、にじの会では3回目の施設内感染が発生致しましたが、感染拡大防止の措置をとり感染は当初の感染発生部署に留めることができ、9月19日に全部署の隔離を解除し通常の活動に復帰しております。

1. 施設内感染状況

- ① 感染者は、利用者23名・職員9名 計32名です。
- ② 感染発生部署は大沢にじの里2F生活フロア、ホームにじの空、ホームにじの森の3生活部署と、にじアート、大沢にじの里、未来工房にじの3つの日中活動部署です。
- ③ 感染経緯
 - ・8月31日に「ホームにじの空」利用者が発熱し抗原検査で陽性が確認されました。陽性者の通所先「にじアート」の利用者4名と職員3名に感染し、同一送迎車利用の利用者1名とその利用者の生活部署「ホームにじの森」の利用者9名と職員4名に感染が拡がり、感染した「にじアート」利用者の生活部署「大沢にじの里2F」利用者1名と職員2名にも拡がりました。また、「ホームにじの森」利用者の通所先「未来工房にじ」及び「大沢にじの里日中」の通所利用者4名にも陽性者が出ました。
 - ・今回の感染での陽性者は、利用者では「ホームにじの空」2名、「ホームにじの森」10名、「大沢にじの里2F」5名、「未来工房にじ通所」5名、「大沢にじの里通所」1名 で合計23名です。職員では「にじアート」3名、「ホームにじの森」4名、「大沢にじの里2F」2名で合計9名となっています。
 - ・今回の陽性者は、感染後1～3日間はPCR検査陰性で、その後に陽性になるケースが多く早期発見が難しく、症状は38度前後の発熱とのどの痛みがあるケースが多く出ていますが、無症状が続いているケースもあります。

2. 感染拡大防止対策と事業再開の状況

- ① 各事業所の拡大防止策と事業再開状況
 - ・大沢にじの里各生活フロアは各々隔離して生活支援し、利用者は個室隔離を実施しましたが、1F・3Fは利用者・職員全員の陰性確認ができたので7日から通常活動を再開しています。短期入所も12日から再開しました。2Fは18日まで隔離を継続

し、19日に全員の隔離解除となりました。

- ・大沢にじの里・にじアート・未来工房にじの日中活動は、9月12日にPCR検査を実施し利用者・職員の陰性確認をして13日から再開しています。
- ・にじの会の3ホームは、各ホームを隔離し生活支援し、利用者は個室隔離を実施しましたが、「ホームにじ」は利用者・職員全員の陰性確認ができたので7日から通常活動を再開しています。「ホームにじの空」は15日に全員の隔離解除となり、「ホームにじの森」は18日に全員の隔離解除ができています。

②事業を継続した事業所の状況

- ・にじアート放課後等デイサービスは、事業を継続していますが陽性者は発生していません。
- ・ワークショップハーモニーも、事業を継続していますが、陽性者は発生しておりません。

3. 今回の施設内感染の発生要因と拡大防止成功の要因

- ① 今回の施設内感染は「ホームにじの空」利用者から発生しましたが、具体的な感染原因は把握できていません。
- ② 今回の施設内感染は週中に発症したため、日中活動と送迎により他部署と通所利用者にも急速に拡散してしまいましたが、1週間の日中活動休止で、それ以上の感染拡大は防止できました。
- ③ 隔離場所支援の職員の感染防止は、大沢にじの里職員2名と「ホームにじの森」職員4名の陽性者が発生してしまいました。陽性者支援体制の改善が必要になっております。

以上のような施設内感染の経過です。今回の第7波は下火になりつつありますが、今後、感染予防策とBCP対応力を一層強化する事が必要になっていきます。